原田式智歯抜去鉗子

一般医療機器 抜歯用鉗子 届出番号 13B3X00365000105

はじめに

最後方臼歯とくに智歯の抜歯には困難な症例が多く 歯科医師を悩ませます。

原田良種 先生はフィジックス氏の下顎智歯用鉗子の形態に改良を加え、バリー氏のエレベーターを左右組み合わせ、片手で扱えるようにし、最後臼歯とくに智歯の抜歯を楽にした鉗子を開発されました。 抜歯の前にレントゲンで歯根の状態をみて、歯根が遠心方向に曲がっていて単純な形態をした歯牙は適応症です。反対に多根歯で複雑な形態をしている歯牙は非適応症です。

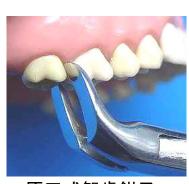




原田式智歯鉗子

使用方法:通法にしたがい麻酔をし、環状じん帯を切断し、上顎智歯を例に説明すると

- 1 智歯と第二大臼歯の隣接面に鉗子を挿入し、鉗子の先端を智歯の根面に接触させ根方向に深く 押し込みます。
- 2 鉗子をかるく握りながら手元を下げつつ右側智歯ならば右外側(左智歯ならば左外側)方向へ回転すると歯牙は簡単に脱臼します。(下顎は鉗子を内側へ回転する)
- 3 脱臼した歯牙は適当な鉗子で摘出すれば抜歯が終了です。



原田式智歯鉗子 嘴部先端を智歯と第二大臼 歯の間に挿入し把握すると、 智歯が脱臼します。



細型智歯鉗子 原田式の細長タイプ



大川式智歯鉗子



遠藤式智歯鉗子

(有)木村鉗子製作所

一般医療機器 製造販売業 13B3X00365

131-0033 東京都墨田区向島 1-18-9 TEL.FAX 03-3623-1232 E-mail <u>Kimura.kanshi@nifty.com</u>

http://www.kimura-kanshi.com/